

競技注意事項

2019 名古屋地区選手権大会
兼 名古屋地区記録会

1 本大会は2019年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施します。

* この競技会の記録は、日本陸連の公認対象競技会です。

* 本競技会の結果は、掲示用記録速報のほかリザルトが公表されます。結果には、順位・記録のほか選手の氏名・所属・学年を含みます。

2 ナンバーカード（ビブス）について

(1) 本年度の登録番号をユニフォームの胸と背に確実につけてください。跳躍競技は、胸または背につけるだけで構いません。

(2) トラック競技に出場する競技者には、写真判定用の腰ナンバー標識を配付します。ランニングパンツの右横やや後方に、そのままの大きさで明確に数字が読めるようにつけてください。競歩競技に出場する競技者には、腰ナンバーと同じ番号のナンバーカードを配布します。

(3) 腰ナンバー標識はフィニッシュ後、直ちに係（ゴール前方スタンド側）に返却してください。

3 ウォーミングアップ場について

(1) ウォーミングアップ場は、原則として北陸上競技場とします。

最終種目の招集開始時刻まで使用できます。

ただし、北陸上競技場においても競技を行っていますので、役員の指示にしたがってください。

(2) フィールド種目の練習は、競技開始前に各ピットで競技役員の指示にしたがって行ってください。

(3) 瑞穂陸上競技場2階室内雨天走路の使用については、晴天時はジョギング程度の使用とします。詳しくは、プログラムに記載の雨天走路の使用についてをご覧ください。

雨天時は競技役員の指示に従ってください。

(4) 競技開始前の本競技場のトラックは、大会の準備に支障のない範囲で**出場競技者に限って**、ウォーミングアップのために、**最初のトラック競技開始時刻15分前まで**使用しても構いません。
なお、1日目の110mH、100mH、2日目の400mH出場者に限り、競技開始直前まで本競技場でのウォーミングアップを認めます。

その際、持ち込みの牽引チューブやミニハードル等の使用は禁止します。

4 招集について

(1) 招集所は正面スタンド下、本陸100mスタート付近競技者ホールに設けます。

1日目2日目は、すべての種目の招集をこの場所で行います。北陸上競技場で実施される種目に出場される方は、移動時間を考慮してください。

3日目は、北陸上競技場正面入口付近に設けます。

(2) 招集の受付は本人が行ってください。時間に遅れたものは棄権とみなし出場を認めません。

(3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、当該競技開始時刻を基準として、次のとおりとします。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	すべての種目	35分前	20分前
フィールド競技	棒高跳び以外の種目	55分前	40分前
	棒高跳	80分前	70分前

(4) 他の種目に出場しているなど特別の事由がある場合、代理人による招集を認めますので競技者係主任（招集所）に事前に申し出てください。

5 競技場への入退場について

(1) 入場は競技役員の指示に従い行ってください。

(2) 退場は、下記のとおりとします。

トラック競技 フィニッシュ地点退場口から1階の室内通路を経て退場してください。
フィールド競技 競技場所から近い出入口から退場してください。

6 レーン順・試技順について

- (1) トラック競技のレーン順およびフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示します。
- (2) 欠場者のレーンは100m～400mではあけます。800mについては競技役員の指示に従ってください。

7 競技について

- (1) 表彰
 選手権の表彰は、1位には選手権賞と賞状、2位から8位に賞状を授与します。
 記録会には、賞状等はありません。
- (2) トラック競技

この大会のスタートは、日本陸上競技連盟・競技規則第162条7に基づいて行います。

・参加者数が非常に多いので、招集時間・スタート時間を細分化しています。

- ①スターターの合図は英語とします。（「On your marks」、「Set」）
- ②すべて写真判定装置を使用し、1/1000秒単位で判定します。
- ③短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も割り当てられたレーン（曲走路）を走ってください。
- ④タイムレース種目の番組編成は申込記録上位から1組、下位を2組以降とすることを原則とします。
- ⑤5,000mWは男子スタート後30分、女子スタート後35分でレースを打ち切ります。
- ⑥5000mは男子20分、女子は25分でレースを打ち切ります。
- ⑦レース中に競技者が自らの意志でトラックを離れた場合は、そのレースを継続することができません(DNFとなります)。
- ⑧リレーのオーダー用紙提出締切は、すべての組が1組の招集完了時間の1時間前とします。

(3) フィールド競技

- ①フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従ってください。
- ②投てき競技の計測は、光波測定器を使用します。
- ③フィールド競技で、助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができます。また、サークルから行う投てき競技はマーカーを1個だけ使用できます。
- ④三段跳の踏切板は、男子11m・女子9mで行います。
- ⑤長さを競う種目は、**選手権のみトップ8**を実施します。

(4) その他

- ①競技者は、勝手に競技場所を離れることや競技規則第144条3bで禁止されたビデオ装置・ラジオ・CD・MD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持または使用することができません。
- ②不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外されます。警告は黄黒色（斜め半分形）のカード、除外は赤黒色（斜め半分形）のカードを示すことによって競技者に知らされます。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

(ただし、天候等の状況により変更する場合があります。)

	練習A	練習B	1	2	3	4	5	6	
男子走高跳	1m65	1m90	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	以後3cm
男子棒高跳	3m20	4m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00	4m20	以後10cm
女子走高跳	1m40	1m60	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	1m61	以後3cm
女子棒高跳	2m20	2m40	2m20	2m40	2m60	2m70	2m80	2m90	以後10cm

※練習はいずれかの希望する高さで行うことができます。

※第1位決定の場合のバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳では5cmとします。

9 競技用器具について

競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければなりません。ただし、やりについては、競技場に無いもの、もしくは1つしかない物の場合は持ち込みを認めますので、希望者は各競技の招集開始時刻の1時間前から招集開始時刻までの間に南側器具庫（フィニッシュライン付近）でやりの検査を受けてください。検査に合格したやりは、預かり証を発行の上、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとしします。

10 競技用靴について（競技規則第143条2・3・4・5・6参照）

スパイクの長さは9mm以内とします。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とします。スパイクは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければなりません。なお、スパイクの数は11本以内です。

11 パロマ瑞穂スタジアムの使用について

- (1) 開門時刻は、午前8時00分とします。それ以前には立ち入らないでください。また、申込数に応じて、2F・3Fのバックスタンド裏の待機場所を指定しますので、**場所取りは行わない**でください。

少人数の団体、個人の方にはメインスタンド上部青色の座席を開放します。割当のある団体は、水色の座席をお使いください。

北陸上競技場での待機場所指定はできませんので、メインスタンド等を譲り合って使用してください。

- (2) バックスタンドの上部以外には応援幕等を張れません。

- (3) **応援はスタンドで行い、本部席前通路や競技場内に立ち入らないでください。**

特に、**フィニッシュ地点には立ち入らないでください。**

- (4) **清掃・ゴミ処理は、各学校、各自で責任を持って行い、環境美化に努めてください。**

ゴミ問題は深刻な状況です。各自「ゴミの持ち帰り」をお願いします。現在、競技会終了後の「清掃・ゴミ処理」は、一部の学校の部員の奉仕活動により行われていますが、その労力は多大なものとなっています。他人に迷惑をかけないよう互いに気を配り、自宅への持ち帰りにご協力ください。

- (5) この大会は清掃当番を、6日(日)は中京大中京高校、愛工大名電高校

12日(土)は瑞陵高校、至学館高校

20日(日)は名古屋大谷高校、天白高校

をお願いしています。

各校の部員は、競技終了後ただちに本部前に集合してください。

12 一般的注意事項

- (1) 本大会は大型映像を活用して競技会運営を行いますので、氏名・所属等の**間違いがあれば本部に申し出てください。**

- (2) 更衣室は更衣のみに使用し、荷物は置かないようにしてください。更衣後の荷物は各自で管理してください。

- (3) 貴重品類は、各自で保管してください。万一の事故があっても、責任は負いません。

盗難には十分に注意してください。

- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、**医務室（フィニッシュ付近スタンド下）において処置を受られます。**なお、**応急処置後の治療は、本人負担とします。**

愛知陸協強化委員会医事部会が、競技者のコンディショニングと応急処置に当たっています。けがの治療だけでなく相談業務も受け付けていますので、積極的に医務室をご利用ください。なお、テーピング用のテープは利用者で負担（持参）してください。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者および本人の了解がない撮影を禁止します。

※撮影を許可するエリアは、スタンドの指定された区域のみとします。禁止された区域での撮影はできません。その他にも、以下の場合の撮影を禁止します。

- ・選手がスターティングブロックの足合わせをしたり、試技を待っていたりしている間や、身体を動かしているなどの準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為として主催者で判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。